

# ARTOMO CASUAL VOL.1

姫路市立美術館と友の会の、今をつなぐ「あーとも・カジュアル」 / 2021年7月28日発行



明後日朝顔「2021夏の水やり部」  
朝活&夕活メンバー募集中！

## 美術館に、朝顔？明後日朝顔プロジェクト、進行中！

9月18日（土）から始まる日比野克彦展「明後日のアート」に先駆けて、現在、書寫山圓教寺・摩仁殿や家島、野里商店街をはじめ、姫路のまちのあちこちで「明後日朝顔プロジェクト」が進行中です。

この活動は、人と人、地域と地域をつなぐアートプロジェクトで、圓教寺・摩仁殿での「苗植式」をキックオフとして町中に広がり、ついに、この7月、姫路市立美術館にゴールイン！友の会主催の取り組みとして「明後日朝顔プロジェクト@みんなの美術館・姫路～思い、記憶をつなぐ種をまく～」と名付け、明後日朝顔を育てるべく、正面玄関の両脇、南面、そして北側の企画展示棟にもロープを張り、プランターを置かせていただきました！夏本番、朝顔はぐんぐんツルを伸ばし、たくさんの花が咲くことでしょう。

姫路ゆかりの江戸琳派・酒井抱一や鈴木其一も、朝顔を描いた名作を残しています。当時、城下町で流行した朝顔熱が、200年の時を経てふたたび、まちと人をつなぎます！

→日比野克彦展さんの「明後日朝顔プロジェクト」について、詳細はHPをご覧ください

<https://www.hibinospecial.com/direction/明後日朝顔プロジェクト/>



## TANeFUNe ワークショップ、大航海スタート！

去る7月18日（日）、いししま自然体験センターで、日比野克彦さんのアートプロジェクト「TANeFUNe ワークショップ」が始まりました。喜多直人船長が操る、明後日朝顔の種から生まれた「TANeFUNe」に乗って無人島や西島の浜を巡り、そこにたどり着いた漂着物を収集観察。想像力をふくらませてモノガタリを紡ぐワークショップ。海から、そしてアートの視点から海洋環境、自然環境の大切さやすばらしさに思いをはせるひとときを創造します。

◎2021年8月22日（日）まで。



夏の友の会イベント 変更のお知らせ

## 美術鑑賞旅行を、 「明後日朝顔プロジェクト@みんなの美術館・姫路」に！

新型コロナウイルス感染再拡大予防のため、令和3年度事業計画として開催予定だった団体鑑賞事業「美術鑑賞旅行 書寫山園教寺《明後日朝顔プロジェクト》」は、取り止めます。それに代わる事業として、《明後日朝顔プロジェクト@みんなの美術館・姫路》を実施！オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクトの招聘アーティストである日比野克彦さんによる「明後日朝顔」を、友の会で育てることになりました。

現在、全国各地から集まった種から発芽した明後日朝顔は、書寫山園教寺ですくすく伸びています。その苗を美術館の玄関に設置した手作りプランターに植えて、ベランダからロープを張り、みんなで大切に育てていくプログラム。ぜひ一緒に、日々の水やりや写真の投稿、種採りなど思い思いの関わり方を作っていきませんか？そして、明後日朝顔プロジェクトのプレイヤーとして、秋におこなわれる日比野克彦展「明後日のアート」で日比野ワールドに出会えることを楽しみに待ってみませんか？こんなご時世だからこそ、明後日朝顔と共に青空を仰ぎ、コロナ禍を乗り越えていきましょう！



\*明後日朝顔プロジェクトへの関わり方例\*

●朝 or 夕方のジョギングやウォーキングの途中、仕事の行き帰りなどに美術館へ立ち寄り、水やりをする ●書寫山園教寺へ足を運び、育成中の朝顔を鑑賞する ●夏休みの自由研究にする ●写真をSNSに投稿、成長過程をみんなで楽しむ ●2021年11月6日（土）、明後日朝顔プロジェクトの種の収穫祭@書寫山園教寺に参加する ●これから企画される、美術館での収穫祭や様々な取り組みを心待ちにする…他

### 明後日朝顔「2021夏の水やり部」朝活&夕活メンバー募集中！

「明後日朝顔プロジェクト@みんなの美術館・姫路」では、7月24日に朝顔の設置を終えますが、そこからアートプロジェクトのはじまりです！朝顔をつうじて、ひとやまちがあさってという未来へとつながっていく。それには11月の種の収穫式まで、朝顔のお世話がかかせません。まずは朝夕の水やりから。美術館の近所にお住まいの方、お城のラジオ体操に毎朝参加されている方、通勤通学の途上に美術館の前を通るといふ方など、早朝や夕方ちょっと美術館に立ち寄って、明後日朝顔の水やりや成長を確かめていただける方を募っています。週1回とか、気の向いたときに参加できます！という方は、ぜひご連絡ください！（友の会 企画室 担当：平野 兼伍）

参加表明・お問い合わせ…TEL 079-222-2288（姫路市立美術館 友の会担当の鎌谷さん、坂口さんまで）

企画展

## 刃文と海と玉鋼、しんと心で響き合う。

「日本の心象 刀剣、風韻、そして海景」展、もうご覧になりましたか。数々の刀の刃文と杉本博司さんの「海景」、明珍火箸のたまはがねの音色が「響き合う」空間は、いつまでも身をひたしておきたくなる余韻に満ちています。また、刀剣ファン必見の刀剣展も話題になり、週を追うごとに来館者数が伸びています。国宝の太刀「明石国行」は、8月1日までの展示。ミュージアム・ショップでは、関連グッズが揃います。まずは一度、足をお運びください！

◎2021年9月5日（日）まで

コレクションギャラリー

### 「ベルギーの作家たち」展

姫路市立美術館の収蔵品、実は名作ぞろいすごいです！

現在は、ベルギー近現代美術の逸品が展示されています。エミール・クラウス《レイエ川の水飲み場》など、ぜひ足を止めて観賞してみてください。

◎2021年9月5日（日）まで

編集後記

### 美術館は生きている…

今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大下ということで会員総会は書面での開催となり、会員のみならずお目にかかることができませんでした。そんな中、ARTOMO〈あーとも〉第1号はなんとか発行できましたが、美術館ではその後も次々と、面白く刺激的な出来事が起こっています。そんな美術館の今とこれからを少しでも伝えたい、そして美術館と友の会のみなさんをつなぐことができるとの思いから、「ARTOMO CASUAL」が生まれました！この新たな会報紙が、みなさまの暮らしにアートな彩りを添える一助となりましたらうれしいです。

（姫路市立美術館 友の会 会長：米谷啓和）

姫路市立美術館 友の会ニュースレター「ARTOMO CASUAL」第1号 / 発行日：2021年7月28日 / 発行者：姫路市立美術館友の会 企画室(姫路市立美術館内) / 写真：喜多直人